

# 格闘フェスタ2024・NKD日本拳法道格闘選手権 壮年男子ルール 修正案 2024・6・2

## 第1条 競技法

第 1 項 本戦を1分30秒間競技とし、ポイントの多い方を勝ちとする。

第 2 項 本戦が同点の場合。延長戦を30秒とし、1ポイント先取者を勝ちとする。無得点の場合は、判定とする。判定の場合、押し出し1回は、0.5として判断する。

## 第2条 ポイント

第 1 項 打撃による有効打は各1ポイントとする。有効の規準は以下のごとくとする。

1 面部・胸部 強打可。膝を着くダウンを含めKOは、ポイント差に関わらず、即時一本勝ちとする。一般部より、軽めであってもタイミングよく、的確に急所にヒットしたもの・発声とともに引き手を取ったものは有効1ポイントとする。

2 下段 フルコンタクト可。単発でも、威力のあるローキックが決まれば有効1ポイントとする。

\*注意 乱打戦は、安全性に配慮して、審判が早めに止めるが、反則とはしない。

第 3 項 投げ技は、柔道で一本に当たる投げは有効2Pとする。

\*寝技は、一方の選手が裏足以外の部分か床に触れてから10秒以内の攻防とする。技が決まった場合は、審判がコールし競技者は仕切り線に戻る。

第 4 項 寝技の場合、相手を押さえての正確な空撃は（背面・金的も含む）1ポイント「実撃は反則」

第 5 項 場外への押し出しは、2回で1ポイントとする。

第 6 項 競技終了の合図と同時に決まった技はポイントとする。

### 第3条 反則

第 1 項 倒れた相手への強打（失格） 競技終了の合図後の攻撃

第 2 項 膝関節を含む、膝より下の足へのローキック・カーフキックの禁止（注意2回で減点1） ただし、蹴たぐり・足裏を使った足払いの強打は可。

第 2 項 頭・頸から突き落とす投げ技（一般部では許可されている背負い・肩車・裏投は不可）。

危険な反則については、注意2回で減点1。明らかに故意であった場合、審判の協議の上、その場で失格もありうる。

相手に背を向けること、又は場外逃避すること。

第 3 項 全ての逆技・絞め技は禁止。

第 4 項 不当に防具を掴むこと。マスクを直している時に攻撃を加えること。競技中、気合（掛声）以外の発生や相手の人格を傷付けるような言動をすること。

### 第4条 負傷（一般ルールと同じ）